

(特非)福島県防災士会 会報

特定非営利活動法人 福島県防災士会 事務局発行 2026.04.01 №027

令和7(2025)年度 第4回理事会報告



開会の挨拶をする滝田理事長

3月21日(土)に二本松市にある男女共生センター3階特別会議室において、令和7年度第4理事会が開催されました。開会の挨拶を滝田理事長が行い、議事録署名人には深谷理事が選任され議事が進行されました。議題としては、日本防災士会の本部や東北支部連絡協議会の活動業況報告、各部会報告、ホームページの改修に関すること。更に次年度の事業予定、新入会員、ガソリン価格等について話し合いました。

次年度の事業予定では、会計監査や次回の理事会、総会と総会後の研修会についても話題となり、講師にど

なたをお招きするか、調整を進めることとなりました。ガソリン価格については、中東情勢や国の補助金や今後の備蓄放出などの動向により価格も安定しないようなので、事務局の渉外活動にも影響することなどの会計影響も確認いたしました。

10月4日内町運防会【いわき市】

10月4日(日)いわき市立内町小学校を会場に内町自主防災会の主催で第4回内町運防会が開催されました。当日は、地元の小学生30名余りとその父兄、更にいわき市危機管理課、内郷消防署などからも関係者が駆けつけました。本会からは、地元町内会の役員も兼務している菅野参与が参加されました。

運防会では、心肺蘇生法の体験訓練や土のうづくりと土のう運搬競争などが行われ、消防車両の展示や内町小学校に設置されている災害備蓄倉庫に備蓄しているものの展示なども行われました。参加した小学生や父兄は、遊び感覚で楽しく災害対応や備えについてを学んでおりました。



心肺蘇生法を行う菅野参与



土のうづくりをする子どもたち



土のう運搬競争をする小学生

日本防災士会会員の活動理念

- 第1. 日本防災士会会員(以下「会員」という)は、地区防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動の基本理念とする。
- 第2. 会員は、地区の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策等、地区防災活動計画の策定・実施に関し、指導的役割を果たすものとする。
そのために、次の事項に積極的に取り組むものとする。
 - 1 会員相互のネットワークを構築し、協力関係を確立する。
 - 2 地区防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研さんに努めること。
 - 3 自治体と緊密な連携を図ること。

10月11日 檜葉町防災士フォローアップ研修会【檜葉町】



災害図上演習を行う参加者の皆さん

檜葉町より要請があり、今年から檜葉町の募集で防災士の資格を取得された方に、フォローアップ研修に参加していただき、その方々を本会で指導することとなりました。

本会の防災指導教育部会が中心となり、10月11日に災害図上演習を行いました。演習は3グループに分かれて、それぞれの課題について、指定の図面上で対応をグループ毎に検討し、その結果を発表いたしました。

研修会は、全4回で防災グッズの作成や避難所運営ゲーム、クロスロードゲームなどを行い、スキルアップを図ると共に指導のポイントなどもお伝えしました。これは、各

防災士の皆さんが地元で指導できるよう育成して欲しいとの考えがあるようです。将来は、どのように進められるかは分かりませんが、次回も依頼がありましたら、積極的に対応していきたいと思えます。

また、その他の自治体においても、防災士の方々のスキルアップを行う必要があるようでしたら、支援していきたいと思えます。会員の皆様も是非ご協力ください。

11月8日 そうまジュニア防災マスター2025【相馬市】



新聞紙スリッパ作成の指導をする高橋会員

11月8日(土)相馬市福祉総合センターはまなす館において、『そうまジュニア防災マスター2025』が開催されました。当日は小学生26名と保護者8名の合計34名が参加して、教育委員会、相馬消防署、日本赤十字社、消防団などが、それぞれのパートを対応しました。相双方部会からは、高橋理事、高橋会員、澁谷会員の3名で、防災グッズ製作を担当して、ペットボトルランタンや新聞紙スリッパ作りなどを指導しました。このイベントは、毎年行われていることから、今後も継続して協力してまいります。

11月16日 鶴ヶ城二ノマルシェ【会津若松市】

11月16日に会津若松観光ビューローの主催による『鶴ヶ城二ノマルシェ』に出展しました。

当日は、防災ぬりえと新聞紙や段ボールを使った防災グッズ作成品の展示、非常持出品(会津若松市役所危機管理課借用品)の展示を行いました。

天気も良く会場には多くの方が詰めかけておりました。防災士会からは、鈴木(里)理事と大山会員の2名で対応いたしました。ブースには148人もの方がお出でになり、防災ぬりえにトライしていただきました。



防災ぬりえを行う参加者

会員の皆様へ：会員様各個人で活動したり、地域や地区で行われる行事に参加したときは、その行事名や内容と写真を添えて理事長へ連絡するか、事務所にFAX(0246-26-8896)して下さい。Eメールの場合は、藁谷理事宛 t_waragai_bousaisi_19617@yahoo.co.jp へ直接送ってください。皆様の活動状況を記録し、会員の方に知っていただくチャンスです。ご連絡をお待ちしております。

各方部や会員の皆様の活動状況



①

相双方部勉強会で講演を聴く参加者

①2月8日(土)に開催された相双方部の勉強会に5名の会員皆さんが集まりました。当日は、防災指導教育部会長の藁谷理事による『講話とクロスロードゲーム』と題して、前半は防災講話と講話時の注意点を合わせて講演していただきました。講話を始める際に、参加された方にいかに災害モードになっていただくかや、出来るだけ地元の話をするようにしたり、土地勘を理解するためにハザードマップを利用することなどを話されました。後半ではクロスロードゲームを実施しました。こちらでもゲームを進めるうえでの注意点やアドバイスをいただきました。

②第17回いわきサンシャインマラソンは、2月22日(日)にいわき陸上競技場をフルマラソンのスタート地点とし、その他の親子マラソンや2km、5km、10kmは小名浜アクアマリンパークをスタート地点として開催されました。

当日は、フルマラソンのコースの救護員を中心に運搬などに郵便局長会の皆さんの協力を得ながら、25名の方々がボランティア活動を行いました。特に大きな事故もなく終わることができました。次年度もボランティア活動で参加したいと考えております。いわき方部の会員の皆さんでご協力出来る方をお待ちしております。



②

いわきサンシャインマラソン救護員・バイク隊



③

ペットボトルランタンと乾電池アダプター説明中

③去る3月8日(土)にイオンモールいわき小名浜において『防災EXPO2026』が開催されました。いわき方部会では、ペットボトルランタン、ペットボトル防災グッズ、乾電池アダプター、活動パネル展示を行いました。当日は、榎良理事、菅野監事、遠藤副部長が対応いたしました。多くお客様に防災グッズの作成体験を行っていただきました。体験していただいた方からは、「このように身近にあるものを工夫して、いろいろなものを作ることを災害発生前に知って、「実際の災害時に役立てられるよう勉強になった。」との声も聞かれました。会員の皆様も工夫していろいろなものを作成して災害を乗り切れるように一度お試しください。

④3月15日(日)に桑折町のイコーゼ多目的ホールにおいて、桑折町生活環境課危機管理係主催の『避難所運営ゲーム(HUG)』を開催いたしました。本会からは、講師やファシリテーターとして、大槻顧問、長岡理事、鈴木(ひ)理事、佐藤(光)会員が参加されました。桑折町の町人41名が参加されました。始めに『避難所運営ゲーム(HUG)』の説明を行った後に、グループリーダーやカードの読み上げ役などを決めてからゲームを開始しました。それぞれのグループに参加した会員がファシリテーターとしてアドバイスをしながら進めました。



④

避難所運営ゲーム進行中